










K7 横浜北西線 工事の記録

沿線の皆様のご協力のもと工事を進めてきました。

<p>横浜青葉JCT付近(高架部)</p> <p>全66基の橋脚、 全73径間の橋桁を施工。</p> <p>2015年6月 基盤整備を開始</p> 	<p>トンネル区間</p> <p>延長3.9kmを1日最大20mの速さで 約16カ月で掘進。</p> <p>2017年3月・5月 シールドマシンが発進(北八朔立坑)</p> 	<p>横浜港北JCT付近(高架部)</p> <p>全30基の橋脚、 全65径間の橋桁を施工。</p> <p>2015年10月 基盤整備を開始</p> 
<p>2017年1月～2018年12月 橋桁を架設</p> 	<p>2018年8月・9月 シールドマシンが到達(東方立坑)</p> 	<p>2017年6月～2019年4月 橋桁を架設</p> 
<p>2018年10月～ 高架上の付属物工事が本格化</p> 	<p>2018年12月～ トンネル内の付属物工事が本格化</p> 	<p>2019年3月～ 高架上の付属物工事が本格化</p> 

2020年3月22日(日)16時に開通します

■ お問い合わせ

横浜市
City of Yokohama

道路局 横浜環状北西線建設部
横浜環状北西線建設課

TEL 045-671-3630 FAX 045-651-3269
〒231-0017 神奈川県横浜市中区港町
2-6 横浜関内ビル5階

ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路

神奈川建設局 調査・環境課

TEL 070-2153-1759 FAX 045-439-0773
(受付時間：平日 9:00～17:00)
〒221-0013 神奈川県横浜市神奈川区新子安
1-2-4 オルトヨコハマ・ビジネスセンター 3階

横浜北西線開通後の料金については、東名高速と横浜北西線を連続利用する場合のみ
上限料金が変わります。詳細はホームページでご案内いたします。
URL: <https://www.shutoko.jp/fee/fee-info/hokusei-sen/>

大型車・特大型車は湾岸線のご利用にご協力ください。ETC大型車・特大型車は、湾岸線「川崎
浮島JCT～大黒JCT」間をご利用頂くことで環境ロードプライシング割引が適用されます。
URL: https://www.shutoko.jp/fee/discount/plan_4/

ほくせいせん  

<https://www.shutoko.jp/ss/hokusei-sen/>



K7 横浜北西線

(K7 横浜北線～E1 東名高速)

2020.3.22^{SUN}
16:00 開通!



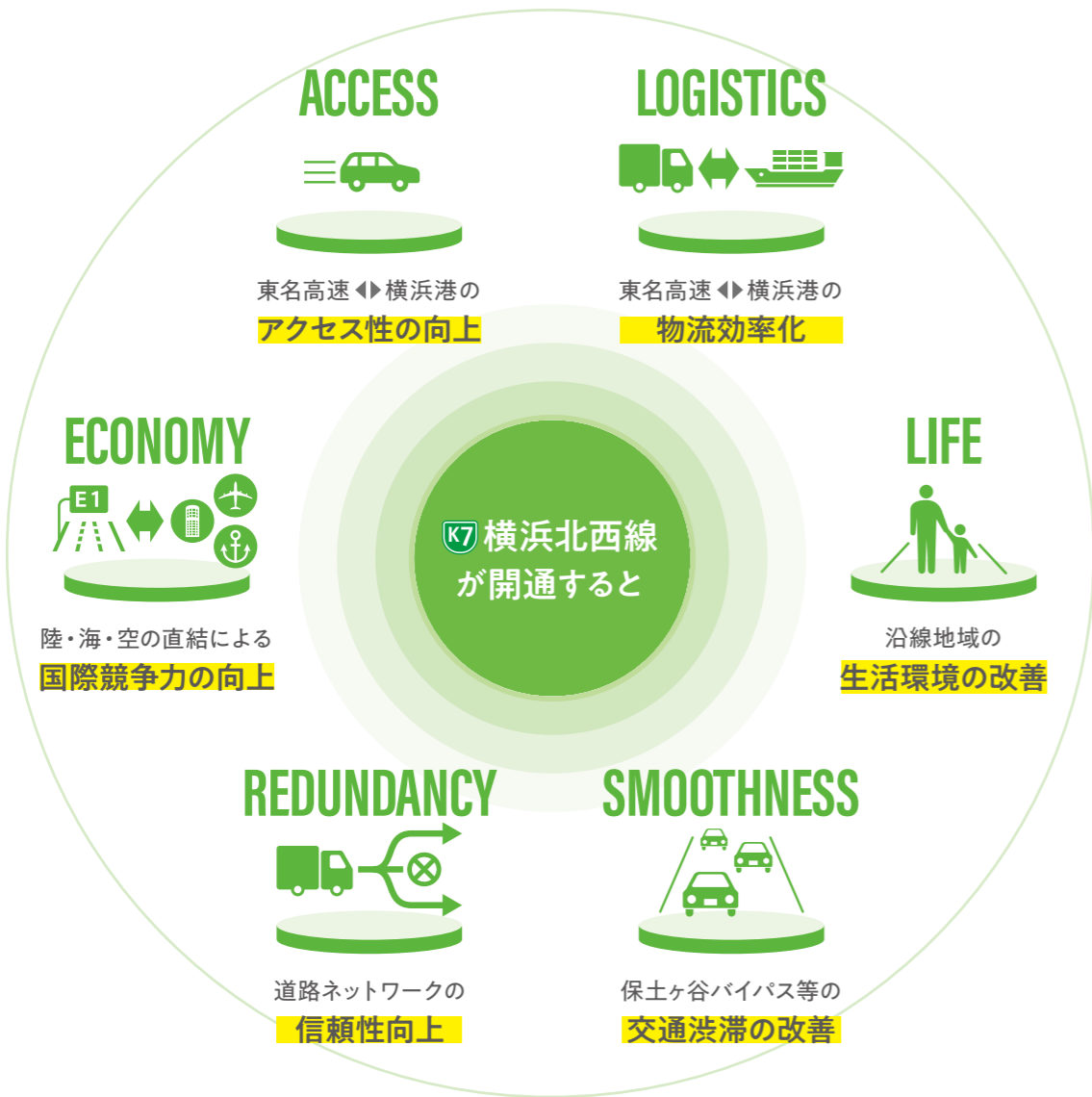


2020年3月22日(日)16時 **K7** 横浜北西線 (K7 横浜北線~E1 東名高速) 開通!

K7 横浜北西線の開通でもっと便利に快適に!

K7 横浜北西線は、2017年3月に開通した **K7** 横浜北線と直結する路線として、**E1** 東名高速道路と **E83** 第三京浜道路を結ぶ、延長約7.1kmの自動車専用道路です。

K7 横浜北西線が開通すると、**K7** 横浜北線と一体となり、**E1** 東名高速道路から横浜港までが直結され、横浜市北西部と横浜都心・湾岸エリアとの連絡強化等が図られます。



横浜北西線開通後の料金については、東名高速と横浜北西線を連続利用する場合のみ上限料金が変わります。詳細はホームページでご案内いたします。URL: <https://www.shutoko.jp/fee/fee-info/hokusei-sen/>



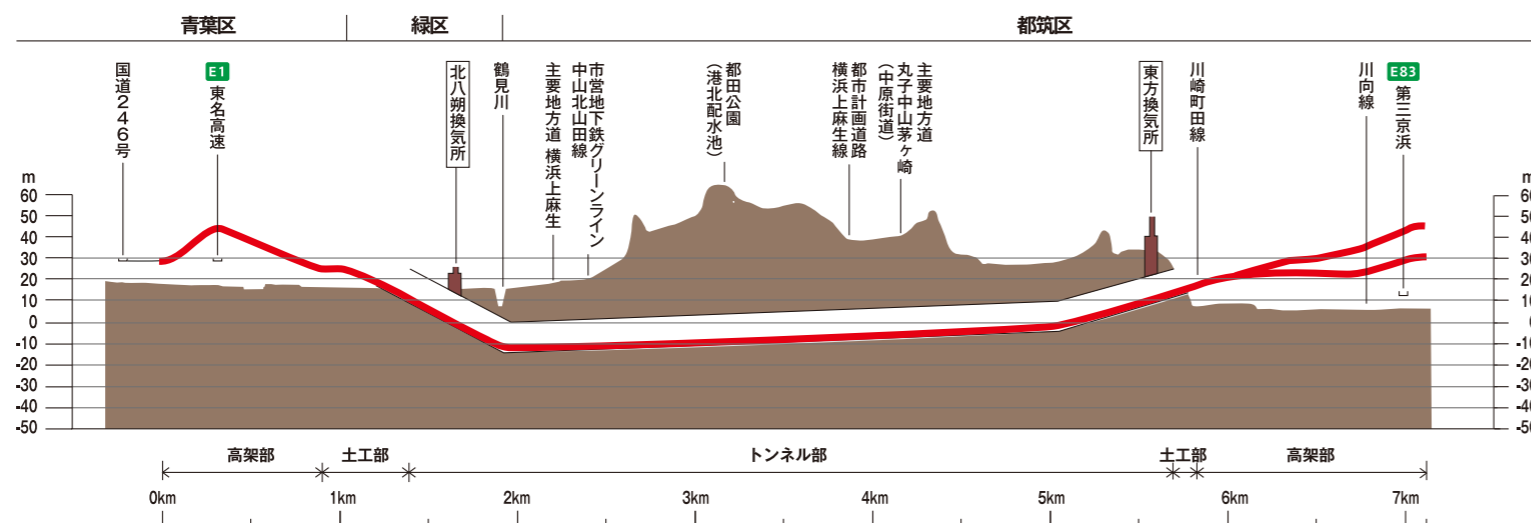
K7 横浜北西線の位置図・縦断図

K7 横浜北西線は、延長約7.1kmのうち約4.1kmがトンネル構造です。横浜青葉、横浜港北ジャンクション(JCT)の付近に首都高出入口を設置します。また、トンネルの両坑口に、1カ所ずつ換気所を設置します。

位置図



縦断図



※縦断図は縦断比を変えてあり、高さは東京湾の平均的な海面高さを基準として表示しています。



① 横浜青葉JCT



② 北八朔地区



③ 横浜北西トンネル



④ 横浜港北JCT

写真は2019年11月現在

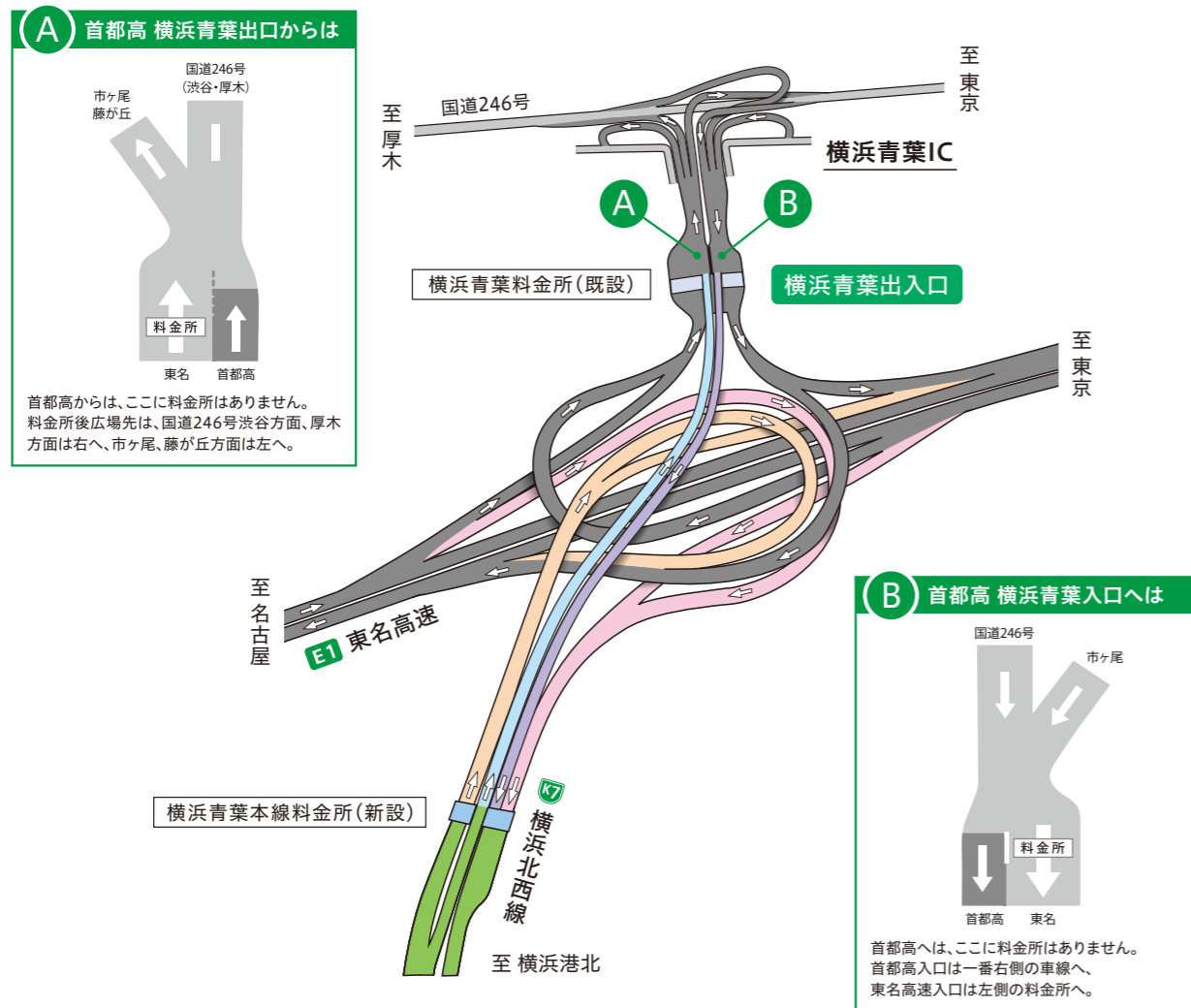


K7 横浜北西線のジャンクション・出入口

K7 横浜北西線は、横浜青葉JCTで E1 東名高速道路と接続し、横浜港北JCTで E83 第三京浜道路と接続します。また、それぞれの場所に入出口を設置します。

横浜青葉JCT・横浜青葉出入口

- 横浜青葉JCTは、K7 横浜北西線と E1 東名高速道路との行き来ができます。
- 横浜青葉出入口は、K7 横浜北西線と国道246号等との乗り降りができます。なお、既設の E1 東名高速道路の横浜青葉インターチェンジ(IC)と同じ出入口でのご利用となります。



東名高速との接続ルート

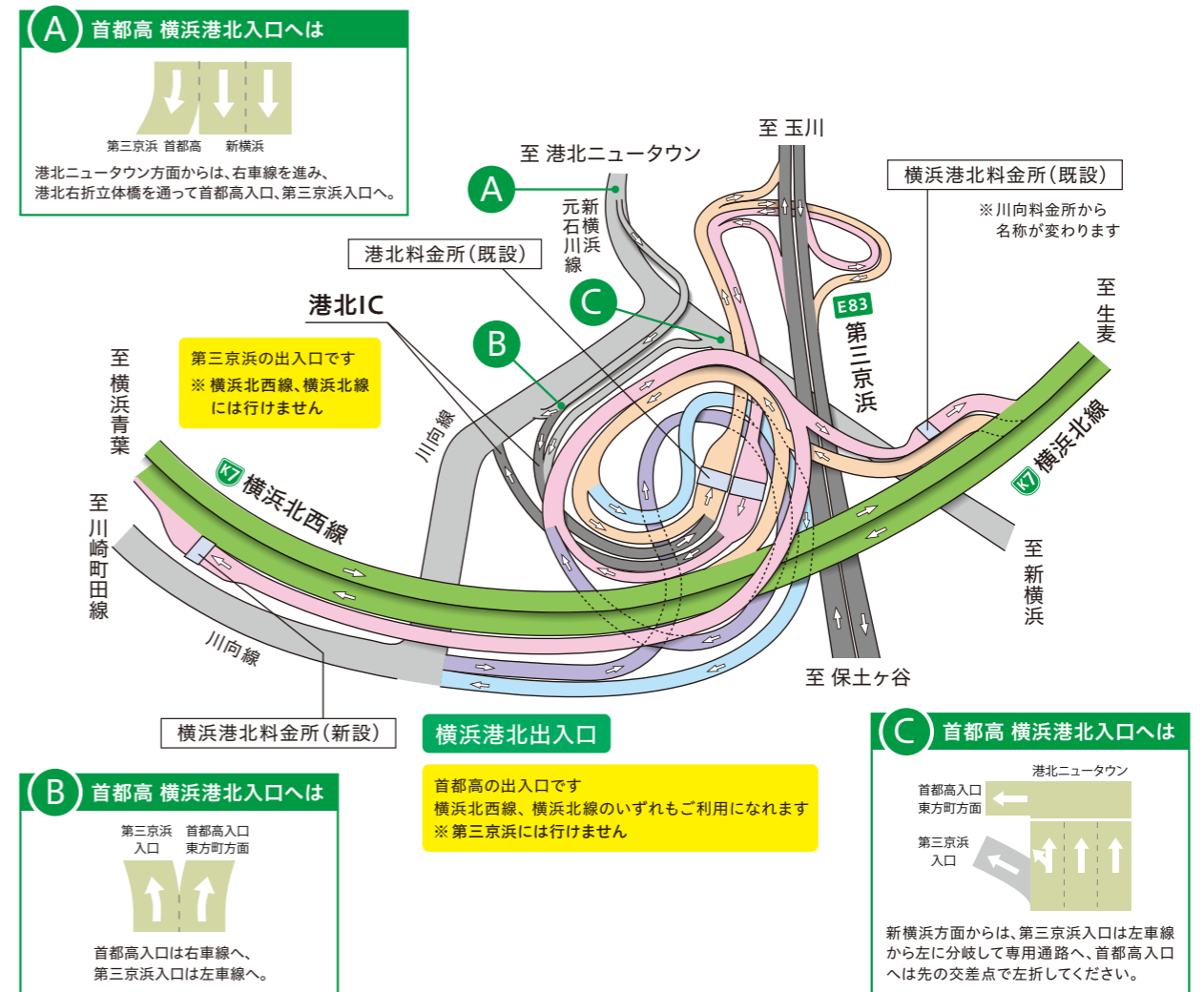
- 東名高速 ▶ 横浜北西線
- 横浜北西線 ▶ 東名高速

一般道路との接続ルート

- 横浜青葉入口：国道246号等 ▶ 横浜北西線
- 横浜青葉出口：横浜北西線 ▶ 国道246号等

横浜港北JCT・横浜港北出入口

- 横浜港北JCTは、K7 横浜北西線・横浜北線と E83 第三京浜道路との行き来ができます。なお、K7 横浜北西線は、K7 横浜北線と直結する路線となります。
- 横浜港北出入口は、K7 横浜北西線・横浜北線と川向線との乗り降りができます。なお、既設の E83 第三京浜道路の港北ICとは別の出入口でのご利用となります。



第三京浜との接続ルート

- 第三京浜 ▶ 横浜北西線・横浜北線
- 横浜北西線・横浜北線 ▶ 第三京浜

一般道路との接続ルート

- 横浜港北入口：川向線 ▶ 横浜北西線・横浜北線
- 横浜港北出口：横浜北西線・横浜北線 ▶ 川向線



K7 横浜北西線の整備効果

K7 横浜北西線が開通すると、K7 横浜北線と一体となり、横浜市北西部、E1 東名高速道路から横浜港までが直結され、横浜市北西部と横浜都心、湾岸エリアとの連絡強化等が図られます。

国際競争力の向上

K7 横浜北線と一体となって、E1 東名高速道路と新横浜都心(陸)、横浜港(海)、および羽田空港(空)が直結してネットワークが強化され、国際競争力の向上が期待されます。



- 物流事業者からの声**
横浜港北JCT周辺は、首都圏への配送が至便であるほか、広域配送に適した立地であり、横浜北西線の開通により、更なる立地ポテンシャルの向上を見込んでいます。
- 観光事業者からの声**
横浜や新横浜の観光地をPRする際、横浜北西線によるアクセス向上を告知できることは強みになります。

アクセス性の向上・物流効率化

E1 東名高速道路から横浜港への所要時間が短縮し、E1 東名高速道路から横浜港へのアクセス性が大幅に向上して物流の効率化が図られ、横浜港の発展および経済活性化が期待されます。



- バス事業者からの声**
東名高速道路・保土ヶ谷バイパスを經由羽田空港等に向かう路線について、運行ルートの見直しを検討したいと思います。
- 物流事業者からの声**
現状は保土ヶ谷バイパスを利用することがほとんどで、横浜北西線が開通すれば全便がこちらを使うことになると思います。

注1 速度は60km/hとしています。注2 所要時間は実測です。測定ルートは保土ヶ谷バイパス～B湾岸線～B湾岸線を利用しています。

災害時等の道路ネットワークの信頼性向上

災害時における道路ネットワークの信頼性が向上し、全国から市内各地への救援や物資の輸送ルートが多重化され、災害に対する備えが充実します。また、初期救急医療体制となる災害拠点病院へのアクセス性が向上し、救急搬送を支援します。



- 医療関係者からの声**
神奈川県北部地域の医療施設への血液搬送は、一般道路を利用するため渋滞に巻き込まれることもあり速達性の確保に苦労してきました。この苦労を横浜北西線は解決してくれると期待しています。

保土ヶ谷バイパス等の交通渋滞の改善・沿線地域の生活環境の改善

保土ヶ谷バイパス等の並行道路およびK7 横浜北西線沿線地域からの交通転換が図られ、交通渋滞や生活環境の改善が期待されます。



- バス事業者からの声**
港北ニュータウン地区付近の渋滞が緩和することで、定時運行が確保できることを期待しています。
- 地域住民からの声**
住宅地を通過する大型車が減り、安全性が向上することを期待しています。



K7 横浜北西線のトンネル防災システム

K7 横浜北西線では、最新の防災安全設備で管制室と現場が連携し、365日24時間体制でトンネル内を見守っています。防災設備を最大限活用し、ドライバーの安全を確保します。

トンネル内の防災設備



もしも事故や火災が起きたら

トンネル内の設備と対策

異常を検知

- 1 **テレビカメラ**
約100m間隔で死角なく設置。
- 2 **自動火災検知器**
約25m間隔で設置。

延焼・拡大を防ぐ

- 3 **水噴霧設備**
施設管制室から遠隔操作し、約50mの範囲に霧状の水を放水。
- 4 **ジェットファン**
火災発生時、煙が避難の妨げにならないよう、車道部の空気の流れを調整。本トンネルに32基設置しています。

情報伝達と避難誘導

- 5 **拡声放送スピーカーラジオ再放送設備**
緊急放送でトンネル内へ情報を伝達。

交通管制室・施設管制室

さまざまな情報をもとに事故、火災などの状況を瞬時に判断し、警察・消防等への要請、パトロールカーの出勤、関係機関への連絡などを24時間体制で行います。また、各防災設備をコントロールして被害を最小限に抑えながら、安全に避難できるよう、お客様を誘導します。

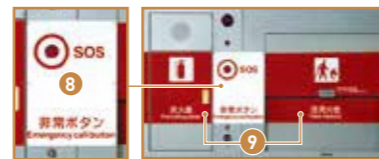
パトロールカー

首都高を24時間体制で定期的に巡回し、日々交通安全の確保に努めています。トンネル内での火災発生時などに現場に向かい、交通規制などの初期活動を行います。

お客様の行動

速やかな通報と避難

- 6 **非常口** 50~250m間隔で設置。
- 7 **非常電話** 約100m間隔で設置。
- 8 **押ボタン式通報装置**
約50m間隔で設置。
携帯電話
#9910で携帯電話での通報可能。



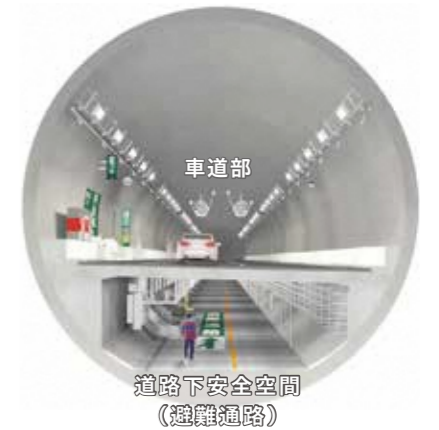
初期消火

- 9 **消火器と泡消火栓**
約50m間隔で設置。
※初期消火は安全を確認の上でお願いします。
※泡消火栓は、ノズルを取り出して、レバーを引くと泡が出ます。
※使用方法は本体上に記載しています。

トンネル内で火災に遭遇したら…

- 1 速やかに停車**
 - 情報板等に従い、周囲の安全を確認して、速やかに停車してください（非常口の前には停車しないでください）。
 - 停車するときは、路肩に寄せて、緊急車両が通行できるように中央部を空けてください。
 - 車を停車させたら、エンジンを止め、キーは車内に残して速やかに近くの非常口から避難してください。

- 2 非常口へ避難**
 - 非常口へは誘導表示板と回転灯（非常口強調灯）を目印に
- 3 地上へ**



すべり台を使った避難の方法 ※大部分の非常口は、すべり台を使用して道路下の避難通路へ避難します。

「非常口を開けるボタン」で非常口扉を開ける

- 1** 非常口に設置された緑のボタンを押します。
- 2** ボタンを押すと、非常口の跳ね上げ扉が開放します。

すべり台で道路下の避難通路に移動

- 3** 跳ね上げ扉が完全に開放されているのを確認し、すべり台で道路下の避難通路へ滑り降ります。
介助を必要とされる方がいた場合は、ご協力をお願いします。
- 4** 避難通路は安全空間ですので、サインに従ってあわてずに避難してください。

道路下の避難通路をサインに従って避難

- 5** すべり台を降りた後は、避難通路内のサインに従って地上出口まで避難してください。